

## 2011年10月4日開催 第562回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員 東野博昭委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役  
柚山ラジオ局長 藤沢編成局長 立野コンプライアンス室長

### ◆ 報告事項

- 1) テレビ・ラジオの10月改編の概要と特徴について、編成局長とラジオ局長がそれぞれ報告した。
- 2) 改正放送法を受け本年からスタートした「放送番組の種別の公表」制度に則って、7,8,9月の3ヶ月間の番組種別ごとの放送時間を編成担当取締役が報告した。合わせて同期間のCM総量および10月以降の基本番組表についても報告した。

### ◆ 「全国ネット番組」について審議した。

#### 各委員の主な意見は次の通り。

- \* タレントであればいいのかというぐらい、タレントばかりが出ているが、「SASUKE」を見て、普通の人のほうが面白いとよくわかった。
- \* 長時間のだらだらとした番宣なのかバラエティーなのかわからない番組で埋め尽くされていて、番組改編期のテレビを見ようという意欲が急速に減っている。長時間ある程度枠を縦に貫いて使えるような時間であるならば、他局にない工夫をそれぞれの局がすべきじゃないのか。
- \* 小さい子どもたちがテレビから受ける影響はすごく大きく、今後ドラマとかをつくる際には、注意して、暴力団がヒーローなるものは自粛していただけたらと思う。
- \* 「水戸黄門」は、いかにマンネリであろうが、荒唐無稽であろうが、視聴率がとれないであろうが、ほとんど「国民の共有財産」みたいなもの。
- \* 「サンデーモーニング」は、1週間の動きが非常にコンパクトによくわかり、コメンテーターも知的水準が高く、非常に参考になる。ただ、コメント時間が短いので、やや食い足りない。「サンデー・ジャポン」は、何となく番組に出てきている方の内輪の話で盛り上がっているような印象を受ける。
- \* 大きな印象で言うと、出演する人が多い。もう少しシンプルに、削れるところがあると思う。それは多くの番組に感じているところ。

- \* 震災特番が他系列に比べてTBSの視聴率が悪かった、それは一体なぜだったのか。TBSの報道に対する親しみとか魅力が薄らいでいるのではないかと、危惧をしながら思った。
- \* 時代劇をテレビドラマとしてつくることについて、TBSは何か基本方針を持って臨んでいるのか。大震災報道の中で、JNN系列として「これをぜひ見てほしい」というものを、全国の番審の方たちに意見を聞く試みをやってもいい。

以上